

市議会、質問相次ぐ

市長「調査して公開」

題について追及した。

白井市長は、市からの
 報奨金である活動奨励費
 が入る消防団口座からパ
 ーティー券代が支払われ
 たことについて、「税金
 の流用とも言えるものも
 あり、少なくとも消防団
 会計から支払われたもの
 は市に返却すべきだ」と
 述べ、市長の責任につい
 て問いただした。

中田市長は「しっかりと
 と調査をして、徹底的に
 正直に公開して参りた
 い」と答えた。

この日質問に立った市
 議員は7人。そのうち、共
 産党の白井正子市議と無
 所属クラブの井上さくら
 市議が、パーティー券問
 題について追及した。

で、市長自身が収益から

資金をもらっている。安
 全管理局よりも市長自身
 の問題ではないか。もと
 もとは市民のお金で、せ
 ひとも市民に返してほし
 い」と迫った。

これに対して中田市長
 は「返す返さないという
 議論ではなく、きちっと
 調査をして皆さんに公開
 することが何よりも重要
 なこと」と繰り返した。

市安全管理局に
 経緯説明求める

消防庁

中田宏・横浜市長の政
 治資金パーティー券を、
 市の消防局職員らが関与

して消防団員が大量購入
 していた問題で、総務省
 消防庁は7日、市安全
 管理局幹部を同庁に呼
 び、経緯の説明を求め
 た。

消防庁側は「報道等
 で、パーティー券の販売
 に消防職員が関与してい
 たり、(市が支出する活
 動奨励費の管理口座であ
 る)消防団の口座から費
 用が支出されたりしてい
 たとの指摘があったので
 状況の確認と説明を求め
 た」としている。

◇

中田宏市長のパーティ
 ー券問題を巡り、市安全

管理局は内部の調査委員
 会を6日付で立ち上げ
 た。樋高雄治・危機管理
 担当理事を委員長、小野
 和夫・予防部長を副委員
 長とし、課長級職員を
 加えた計8人で構成し
 た。

委員会事務局による
 と、市内の18消防署を対
 象にして、問題になって
 いる04年と05年のパーテ
 ー券当時の消防署長、副
 署長、庶務課長ら関係者
 からのヒアリングをす
 る。

同事務局は「主に市職
 員の関与と、消防団の会
 計からの支出問題につ
 いて調べる」としてい
 る。